

KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

BE AT/IN SCHOOL の語法についての一考察

著者	岡田 啓
雑誌名	研究論集
巻	73
ページ	17-29
発行年	2001-02
URL	http://id.nii.ac.jp/1443/00006363/

BE AT/IN SCHOOL の語法についての一考察

岡 田 啓

0. はじめに

A Comprehensive Grammar of the English Language (1985: 677) (CGEL) は次の例文を挙げてその意味を説明している。

[1] Sid is at school. AmE 'at the place, not at home'; BrE 'enrolled in'; 'at the place, not at home'

[2] Sid is in school. AmE 'enrolled in'; BrE 'at the place, not at home'

[3] Sid is in the school. 'within the building'

この説明によると be at school はアメリカ英語 (AmE) では「学校という教育を受ける場所に行っていること」を、イギリス英語 (BrE) では、その意味に加えて「生徒として在籍している」ことも表す。これにたいして、be in school は、AmE では「在籍している」、BrE では「学校という場所に行っていること」を表す。

また語法に詳しい学習英和辞典の『ジーニアス英和辞典』も、

She is still at [《米》in] school. 彼女はまだ在学中です 《◆in the ～では《英・米》共に「校内に、学校の敷地内に」の意》。

のように説明している。

ところが、実際にコーパスにあたって調査を行ってみると、上の説明では解釈のできない例が現れる。例えば、次の be in school はどうであろうか？

◆“Where should we go?” asked Elinor.

“Maybe we could go to the village and find some other kids,” suggested Andrew.

“They’re still *in school here*,” Elinor said.

“Aunt Grace said they don’t get out for another week.” — Margaret Anderson: *In the Keep of Time*.

これはよそからやって来て休暇をすごしている主人公たちが、まだあと一週間しないと夏休みにならない村の子供たちのことを話している部分である。They're still in school here. とはこの村の子供たちはまだ「学期中である」というのである。in school は 明かに 'enrolled' の意味でも 'at the place, not at home' の意味でもない。「学校教育カリキュラム上、学期の最中である」 'in term' という意味である。別の言い方をするならば、Sid is on vacation. における on と類似した in の用法と見なすことができる。

また [3] についても、CGEL や『ジーニアス英和辞典』などの説明にない用法がある。

◆'People do their research as a priority,' says John Day, of Hamptons in Beaconsfield, Buckinghamshire. 'Some people take a temporary address by renting and then move once the child is in the school.' — *The Daily Mail* 97/03/02

これは子供を目的の公立学校に入れたいと思っている親は、調査を怠らない。まずその学校の校区内に借家し、子供が入学を許可されたら本格的に家を買って引越しをする場合もある、という記事。この例では in the school は明かに「在籍」 'enrolled in' の意味で用いられているのである。

本論の目的は、コーパス¹⁾に基づいて be at/in school, be at/in the school, の語法に関してもう少し詳しい解説を行うことにある。AmE, BrE で用法が異なるので、用例はできるだけ英国・米国の新聞から採取した。

前置詞 at, in とともに空間および時間を指定することができる。とくに無冠詞の school という抽象概念と組み合わせた場合、さまざまな意味が生まれる。しばしば someone be at/in school の解釈の特定が困難である理由もまさにそこにある。「在籍」を表す例でも文脈によりその時間的要素が強く現れたり空間的要素が現れたりするので、前後の脈絡を詳細に見なければ微妙なニュアンスの区別を識別できない。今回のコーパス調査で判明した be in school のもつ新しい用法について CGEL にも何らの言及がないのも、細かいコーパス調査に基づいた記述でないために用法を見落としたか、あるいは 'enrolled in' にあまりにも意味を担わせた結果、説明不足に陥ったものと言ってもよいであろう。

本論では be at/in school について BrE, AmE の分類と解釈を行い、あわせて school に冠詞などが付いている場合、また、学校が固有名詞で与えられているときの両前置詞の用い方、senior, freshman など特定学年を表す語と結びつくときの at/in の振るまいについてまとめる。

1. Sid is at school. のタイプ

'at the school, not at home' は「学校にいて授業を受けている・在宅していない」との意味で教育の場としての学校を空間的に捉えたもの。

◆‘And you are eleven years old, I believe? And your sister Abigail is thirteen. She is at school, no doubt?’

‘Abi. You call her Abi. Yes, she’s *at school*. We take turns to stay home since my mother became so ill.’ — Nicolas Fisk: *Robot Revolt*.

この例は母親が病氣なので交代で学校に行かずに家にいる少女の話であるから、明らかに空間的概念をあらわす。

これにたいして ‘enrolled in’ 「在籍」を表す *be at/in school* はさまざまなニュアンスを伴うが、それは大きく3つに分類される。それは、主として時間的な概念を表すもの、空間的な概念を表すもの、そして時間・空間いずれでもなく、ただ「在籍」の有無を問題にする場合である。

a) 次の2例における *at school* は主語が「学校に在籍しており、学校教育を受けている段階である」という意味。時間的な概念が支配的 (time-oriented) だと言える。

◆My cousin’s *at school* in Glasgow. There’s over thirty in her class, and they have discipline problems. Her teacher had a nervous breakdown last year. — Joan Lingard: *Hands Off Our School!*

次例も「アデレードで」という場所の副詞があるので分かりにくい、「在学中」という時間的な要素の強い例。

◆She’s an American. An exchange student or something. Anyway, she’s *at school* in Adelaide, an expensive private boarding school. — Roy Pond: *Playing Director*.

この用法はしばしば副詞の *still* によって修飾されるが、その場合、「学校に行っていて自由がない・大人になってない」というように時間的な側面が強調される。BrE の用法。

◆What good does it do me? I’m still *at school*. I still have to do boring things and learn totally irrelevant junk. None of it means anything to me, Kim. — Peta Minogue: *The Best of Love*.

また、時を表す従属節中で用いられるときには「学生時代のできごと・思い出」が語られることが多いので、ますます時間的な意味合いが強くなる。

◆When I was fourteen I wrote a wish-fulfilment book called *Dance For Two*, and this was published while I was still *at school*. — M. Hodgson: *Heartache*.

b) ところが、*be at school* が主節で用いられ、それに *during*, *while* などの副詞を伴う場合は、「在籍状態」の空間的な側面が前面に出てくるようになる。次の例では、主人公は月曜から金曜までは修道院付属の学校で過ごし、家にはもどらない。空間的な概念が強調されている。

◆She’s *at school* during the week. A convent school, where she’s been doing rather well. —

James Michener: *Alaska*.

2. Sid is in school. タイプ

このタイプは従来, AmE ‘enrolled in’, BrE ‘at the place, not at home’ のように明確な意味上の区別があると説明されてきた。ところが, この単純な二分法では片付かない。

2-1 「在籍」を問題にするもの

a) 「学校に在籍している年齢で大人ではない」の意。AmEの例。時間的な概念を表す。

◆“ ... I know I'm young, I'm still *in school* — ”

“You're still in high school?” James interrupted. — Francine Pascal: *Olivia's Story*.

b) 空間的要素の強調される場合

◆Over the years, the hypocrisy involved in big-time college sports has slam-dunked my interest. Not all coaches cheat. Not all athletes are *in school* just to play ball. — *The Washington Times* 92/03/18

これは, 大学のスポーツ選手 (ラグビーなど) は必ずしもスポーツだけをしに, 大学に来ているわけではない, と言っている。この例は「在籍」していると考えた上で, その空間的な要素を強調したものと考えらるべきではなかろうか? つまり第一義的に ‘enrolled in’ の解釈を採る。そしてそれから空間的ニュアンスを強調するである。そうすれば「大学に在籍しているのは, 大学という教育の場でスポーツをするためだけではない」と解釈できる。

もう1つ例を見てみよう。

◆Mr. Anrig, a former commissioner of education in Massachusetts, conceded that comparing test scores among countries is difficult. One example: Chinese students scored highest on the math test, but only half of Chinese 13-year-olds are *in school*. — *The Washington Times* 92/02/06

中国の生徒の成績が良いのは「学校という場に在籍している」のは半分だけで残りの (レベルの低い) 生徒は学校に行かず他の場所にて働いているから, と述べている。空間的概念。以上の2例は AmE。

2-2 「在籍」そのものを問題にするもの

CGEL は *in school* を ‘at the place, not at home’ (BrE) とするが, 英紙にこの説明では解釈のつかない例が現れる。

◆While Britain has no restrictions at all upon workers aged 16-18, Brussels now seeks to

restrict their hours of work to 15 per week if they are *in school*, and 40 hours per week if not. — *The Daily Telegraph* 92/01/16

ベルギーでは就学している若者については労働時間を週に15時間に限定しようとしていると報じた記事。これは教育機関での「籍」のあるなしを直接問題にした用法であって、CGELの空間的な解釈では説明できない。どちらかという、AmE ‘enrolled in’ の意味に近いと考えるべきである。

「在籍している・退学処分になっていない」という意味がさらに明白なのが次例で、両親が学校側に陳謝して、少年は未だ退学処分を受けていない、と述べているもの。

◆Margaret Morrissey, the spokeswoman for the National Confederation of Parent Teacher Associations, said she could not accept punishing children for their parents' action. "I sympathise with teachers for what they have to put up with but this is not the right way of going about it."

In Mrs Paver's case, which took place a month ago, the child is still *in school* after an apology from the family. The father is a school governor and the family had always been supportive of the school. — *The Times* 96/05/29

2-3 「学校のエデュケーション」を表すと考えられる用法がある。これは上記の文法書・辞書では取り上げられていない。

◆The girl's mother wipes the sleep from her eyes. Sandoval explains that her 16-year-old daughter hasn't been to class in weeks.

"She's not *in school*? She must be," she says. "I work at night cleaning offices, and I don't get to see my daughter. By the time I get off work, she's already at school." — *The Los Angeles Times* 96/11/10

Sandoval から娘が授業に出ていない、という知らせを聞いた母親が驚いて聞き返す。She's not in school? は「娘は学校に行って（教育というサービスを受けて）いないのですか?」の意味。この例文の最後に出てくる at school と比べると興味深い。in school によって、かなりの長期間にわたって娘が授業に出ていないということが含意される。in を at に代え She's not at school? とすると、今日たまたま学校に行っていないのかとの問いとなり、長期の欠席を示唆することはできない。AmE の例。

次も同じく AmE。be in school が成立している時間は一日と短い、が、「授業をうけている」「in class」とほぼ同義の「in school」である。「親は学校が教育機能を果たせるようにする」義務がある。言い換えれば、「子供が学校で授業をうけるよう見届けておく」義務があると述べている。これは、親にたいして、子供を在宅させたり町で遊んだりさせるのではなく、学校に

来させて授業を受けさせるよう要求している。ゆえに、ここには空間的要素も含まれるが、あくまで学校の教育機能に焦点がある。この例文において仮に in を at に換えると「学校の敷地内に」となり完全に場所を表すことになる。

◆And if the kids don't care, their parents very likely will. Failure to know the whereabouts of their children after 10 p.m. could cost parents as much as \$2,500 for the police time expended.

The same is true for failure to ensure the child is *in school* during school hours. The fine would only be invoked after repeated trancies or curfew violations. — *The Los Angeles Times* 96/03/28

BrE でもこの用法がある。次例は一日の9時から3時半まで「授業がある」というもので、「在籍」しているかどうか、とか「学校という場所」に身をおいているかどうかを問題にしているのではない。学校の教育機能の下に身を置いている、と述べているのである。ここでは少年たちが相当無理なスケジュールを強いられているという文脈で用いられている。

◆The boys are *in school* from nine to three-thirty and then they have three hours of tennis. After that they have homework to do, then the hours in the day start to run out. — *The Times* 97/07/06

インフォーマントによると、テニスレッスンは学校の敷地内で行われており、通常の授業と区別するために *in school* を用いている。at school を用いると、テニスのレッスンは学校の敷地外で行われることが示唆される。

2-4 教育活動の有無を問題にするもの（時間的概念）

さらに「学期中である・休暇に入っていない」という第二の時間的概念が存在する。これまでの‘enrolled in’という解釈で説明しようとするとう明らかに無理があることを証明する好例なので、既に序論のところで例を示した。このタイプは、2-3の学校の教育機能を制度化し、その「カリキュラム」の時間的側面に注目したもの。次例は、ベビーブームで生徒数が大きくなりすぎたので、十分な教育ができない。そこで学期制を複線化し、別のグループが休暇中に、あるグループの授業があるようにしよう、との提言。この用法は AmE, BrE 両方に存在する。

◆The Los Angeles school district has 610,000 students. The board's 5-2 vote, following a heated four-hour public meeting, puts kids on a cycle: three months *in school*; one off. Some schools will have “multi-tracks”: When one group is *in school*, another will be off. — *USA Today* 90/02/07

2-5 「学校という場所に身を置いているときは」の意で‘at the place, not at home’があてはまる。完全な空間的概念。²⁾

次例は学校という場では問題児であるが、一緒に旅行につれて行くには構わないだろう、という判断を示したもの。

◆He asked if he could go with us on the trip and I think it would do him good. He's a big lad and he gets into all sorts of trouble when he is *in school* but I think he should come with us. — W. Chalk: *The Talking Machine and other Stories*.

3. school に冠詞や形容詞などが付く場合

ここで以下のパターンについて論じ、具体的な例を提示する。

[1] He is at/in high school/primary school/college.

[2] He is at Walnut Grove High School/London University/the University of Montana.

[3] He is at/in a _____ school/college/university.

He is at/in the/one's _____ school/college/university.

3-1 He at/in high school. のタイプ

at school の代わりに at high school など「特定の教育段階での在籍」を表す場合は、AmE と BrE では語法が異なる。単に「教育を受けている」ではなく、elementary school, high school, college に在籍しているとき、BrE では at で、AmE では in が用いられる。以下は BrE, AmE でそれぞれ「彼は小学校・高校・大学」に在学しているという意味。

a) He is at primary school/high school/college/university. [BrE]

b) He is in elementary school/high school/college/university. [AmE]

以下に用例を与える。

◆Daughter Lisa is *in college* studying marketing and will most likely join the business when she graduates, Schlacher said. — *The Los Angeles Times* 96/04/16

◆When I was *at college*, someone offered me a warehouse on the Thames for pounds 11,000. — *The Daily Mail* 97/09/14

◆I remember when I was *in university*, all kinds of crazy things were going on — Susin Nielsen: *Snake*.

◆Although why Aida wants to get married, I don't know. If she was in Australia she'd still be *at high school*. — Patricia Bernard: *Aida's Ghost*.

3-2 be at/in の後に、ロンドン大学など、特定の名称のついた固有名詞を従えるときは AmE でも BrE でも at が用いられる。ふつう in は不可。³⁾

◆I first came across William Hogarth's paintings and engravings when I was *at Bradford Gram-*

mar school. — *The Times* 97/02/23

◆My son is at *Emory University*. — *The Washington Times* 95/09/27

◆Son and heir Charles, 21, who has the Prince for a godfather, is at *Edinburgh University*, while twins Edward and Victoria, 17, are at *Marlborough*, the leading Wiltshire public school. — *The Daily Mail* 97/06/16

ふつう、「私は〇〇大学に行っています」というときには

1) I go to 〇〇 University.

2) I study at 〇〇 University.

3) I am a student at 〇〇 University. の 3通りの言い方がもっともよく用いられるが、be 動詞プラス at/in school, at university, in college などの後に特定の学校名あるいは学校の所在する町の名前がくることもある。この時 AmE では in school, BrE では at school が用いられる。

◆Two weeks ago, Mr. Brooks was downtown when he spotted Vincent and called to him. His son — who was supposed to be in school at *Eastern Senior High* — ran. — *The Washington Times* 91/03/18

◆Their eldest son, John Jackson, 20, is in college at *Norfolk State*. — *The Washington Times* 91/03/18

◆Nevill was at school at *Clifton College* and went from there to St John's College, Cambridge, with an open scholarship. — *The Times* 96/08/12

◆There is another child, an older boy called Gene, who is at college in California, — David Lodge: *Paradise News*.

◆My daughter, who is at university in *Edinburgh*, is also afraid now to travel alone. — *The Daily Mail* 97/11/15

高校についても He is at/in school at Walnut High. のように言えるほか go to school も使用できる：Where do you go to school? — I go to school at Sweet Valley High.

類例をあげておく。

◆He was going to go to school at the *University of Texas*. He was born here. He loved it here. He was Texas through and through. — *The Washington Times* 95/12/31

◆Stephen Cassidy lives on the Ovenden estate and goes to school at *Catholic High*, a mile away. — *The Guardian* 96/10/23

3-3 He is at/in a _____ school/college/university.

He is at/in the/one's _____ school/college/university.

これらは特定の学校に在籍していることを表すほか、特定の学校の建物・敷地などを意味することも多い。

次例は「在籍」を表す。

◆He is an epileptic but I don't want to embarrass him by saying too much. He is *at a college* for the disabled. Although he is not disabled in the conventional sense, he is somewhere where he can be supervised. — *The Daily Mail* 97/04/07

◆Leonard was in the same lodgings as me; now he's *at an agricultural college*. When he's got his diploma, we're going to get married. — C. Pulein-Thompson: *Three to Ride*.

◆Maybe it would have been different if we'd both been *at the same college* and had seen each other every day. — J. Quin-Harkin: *Best Friends Forever*.

次例は転校してきてまもなく悪い噂がたった Todd という学生についての記述である。やはり「在籍」の意。

◆“Like I said, I didn't know Todd in Burlington,” Kevin began. “But I knew of him. Todd wasn't *at the high school* long before he had a reputation.”

“What kind of reputation?” asked Winston. — Francine Pascal: *Todd's Story*.

次は「教師として在職して」の意で用いられている例。

◆“He's a known entity,” school board Vice President Terry Nelson said. “He's been *at the high school* for quite awhile. He has the experience and he's been able to be a quiet leader on campus as an assistant principal.” — *The Los Angeles Times* 96/08/16

特定の学校という文字どおりの場所を表す場合の用例。

◆A few days before he had to be *at the high school* for meetings and registration, he called again. — Raimond Carver: *Where I'm Calling From*.

次例は「在籍」しているのではないが、comes to the college「特定の大学（場所）までやってくる」の意。

◆The boy has been *at the college* almost daily since the beginning of term and the authorities are powerless to stop him. — *The Daily Telegraph* 96/02/04

上の例では at が用いられて特定の学校の場所を与えているが、in を用いて「学生として在籍する」の意味で用いられているものはコーパス中に 1 例も見出すことができなかった。インフォーマントによると特定の大学に入学を許可された（言いかえると、「在籍」を許可された）場合 He is in the university. と言えるそうであるが、大量のコーパス調査で用例が出現しない以上、少なくとも学習者としては用いないほうが良いのではなかろうか。次の 2 例はともに

「教員として特定の大学に在職する」の意。

◆... Denton had offered him a teaching fellowship in the History department for the next year.

Despite his secret disagreement with what he thought were Denton's naive positions, Denton was the one instructor Rudolph had come to like in all the time he had been *in the college*, and the one man he considered had taught him anything useful. — Irwin Shaw: *Rich Man, Poor Man*.

◆... she would be far from these red hills and good country people. She would be *in a university* lecturing to people who knew what she was talking about. — F. O'Connor: *The Complete Stories*.

これまで見てきたように特定の学校名があがっているときには普通は at のみを選ばれる。これは医学校・法学校などでも当てはまる。次例では Richard はハーバード大学の医学校(部)で研究者として在職している。

◆One son, Richard, is *at Harvard Medical School* working in molecular biology, and the other, Robert, is an economist in Italy. — *The Washington Times* 92/05/02

しかし、医学部などが大学という大きな組織のなかでより小さな一部をなしていると思われ、そこに学生として在籍するときには「be 動詞 + in」も使用される。⁴⁾ 次例は「医学校(部)に在籍している」の意。

◆The Peabody Institute of Music was situated on Mount Vernon Place. George, who was now *in the University of Maryland Medical School*, was well versed in Baltimore's sexual geography. — Russel Baker: *Growing Up*.

上例は学部と大学名ををまとめて言ったものと解釈されるが、大抵は「in + 学部名 + at + 大学名」の言い方が選ばれるのが普通である。

◆Noire Jackson is an honor student in communications at Virginia State College; and Yvonne Jackson is *in medical school at Howard University*. — *USA Today* 90/07/20

このように冠詞や形容詞などがついている時も、at, in とともに「在籍」を表すことができるが、それらの詳細については本論では取り扱わない。

4. He is a senior in high school. のタイプ

in high school は「在籍」をあらわすが、その時間的内訳が意識されるときがある。その一つはその区分の具体的な名称である junior, senior などが共起する場合。しかしその場合であっても学校名が固有名詞で与えられるときは、その学校は教育機関としては分割のできないものと考えられ、普通 in は用いられない。⁵⁾ その代わり、その特定の教育機関において「(その本来的役割である)教育の授受に関与している」かどうかを問題にする at を使用する。He is a senior at ABC High School. のタイプのものはコーパス中に1500件以上現れた。

特定の学校名がなければ以下の a), b) の両方が可能であるが, a) が普通でコーパス中に170件現れた。b) は3例のみ, しかも唯一 at college との組合せでのみ出現した。a senior というのは高校・大学で最上級学年であり, この語が用いられると次に出てくる college, high school などは一定の時間巾をもつ「範囲」と認識するほうが自然である。ゆえに, at でなく in が選ばれるのである。インフォーマント調査では, a senior at high school も可としたが, 用例の少なさからして, a fifth-year pupil at elementary school や a junior/freshman /senior/sophomore at high school/university など文体的に問題のあるやや不自然な英語である, と結論できよう。⁶⁾

a) She's a senior in college/high school. [このタイプはコーパスに170件出現した]

b) She's a freshman at college. [極めてまれ。下の第二例]

◆I'll be a senior in college next year — T. Strasser: *Wildlife*.

◆Bolcom was a freshman at college in his native Seattle when, in 1956, he set a few of the poems to music. — *The Times* 96/11/15

◆She's a senior at/*in Rio Americano High School in Sacramento. — *USA Today* 91/03/05

次のように, まれに固有名詞であっても形容詞で修飾されることもある。

◆Mr Wang came to public attention in 1989, when he was a freshman at the elite Peking University where his father taught. — *The Times* 96/10/16

◆She is a senior at/*in Stanford University/the University of Minnesota.

また

c) She's a senior at/in a _____ college/university/high school.

d) She's a senior at/in the _____ college/university/high school.

のタイプについても以下に例をあげる。

◆I am a 20-year-old college junior at a large university. — *The Washington Times* 92/08/23

◆I am a senior in a large Midwestern university, and I recently attended a job fair at school. — *The Washington Times* 91/01/15

◆“She was my best friend,” said Yadzaret Peregrina, a senior at the high school. — *The Los Angeles Times* 96/06/25

◆It was an auspicious beginning, highlighted by a long low whistle from an Eskimo boy who looked as if he might be a senior in the high school. — James Michener: *Alaska*.

上の例で分かるようにコーパスには be a senior at/in the high school のように at, in いずれの実例もある。これらの使い分けについては, 話し手が命題を聞き手に提示するとき, 情報のどの部分を, 聞き手にたいして訴えたいのかによって決定される。大よその傾向としては at は特定の教育機関を他の教育機関との対比において表すときに用いる。このとき, この教育機関

は新情報として聞き手に提示される。対照的に、in では、脈絡中でその教育機関は既知の情報として受け取られ、be a senior という叙述部こそが話し手の伝達内容の中心となる。しかし本稿ではそのような詳細な文脈分析は控え、単に at, in の両方の前置詞がともに使われているという事実の報告にとどめたい。

5. 終わりに

以上のように someone be at/in school の用法は従来の ‘enrolled in’ と ‘at the place, not at home’ の説明ではおぼつかないということを示した。特に、語法的に be on vacation の on vacation に相当するような in school があることは、コーパスを調査して初めて分かった。be at/in school のように無冠詞での語法については論じることができたが、be at/in a/the ___ school /college のような使い方をしているときの二つの前置詞については、十分にはとり扱えなかった。それらはこれからの課題である。また、加えて at/in school/college などと共に起る叙述部を調査研究することも大切である。a senior などについては多少は触れたが、

?He is a student at school.

He is an excellent student at/in school.

He is a student at the school.

He is a student at Dana College.

He studies at Dana College.

のように at/in school などとともに出現する叙述部の可否とその理由を分析・究明する必要があるのである。今後の研究としたい。

注

- 1) コーパスとして使用したのは、英米の小説や随筆など2000冊余りと英米の新聞・雑誌12年分で約5億語のデータ。これを赤瀬川史朗氏の検索ソフト Txtana SE を用いて調査した。
- 2) 本論は Sid is in school. のように主語に人間をとる例を論じているのである。示唆的な以下の例を考えてみよう。主語に「場所」をとっているのは in のみ可。at は代用できない。
 - ◆The place for formal learning is *in school*. — *The Daily Telegraph* 92/05/28
 - ◆The best place to learn to teach is *in school*; [教え方を学ぶ最高の場所は学校の中である] — *The Times* 96/06/13
- 3) 以下のような例外的なものもコーパス中に1例見つけた。
 - ◆When I was *in Oxford School* — the girls' private school in Hartford — we had a riding class there. Sergeant Anninger used to put me on a pony named Leopard. — Katharine Hepburn: *Me. Stories of My*

Life.

4) 動詞が be でなく study の場合, study at Harvard Medical School で学生としての在籍を表し得る。

5) コーパス中に 1 件のみ in の例が現れた。作者の個人的な癖かもしれない:

◆My obsession with opera was well advanced before I learned what pure music was. While a sophomore in Swarthmore College I was stopped in the hallway by Professor Fritz Klees of the English department who had never had me in class. — James Michener: *The World Is My Home*.

6) 小学校の○年生が at elementary school と共起する用例は 1 例出てきたが, それは全コーパス中ただ一冊収められている, 日本語からの英訳本に現れた:

◆For Totto-chan, this year was different from the year before. She was now a first grade pupil at elementary school, and also she knew one bit of English. — T. Kuroyanagi (TR. Dorothy Britton): *Totto-Chan the Little Girl at the Window*.

これは He was a sophomore at high school. と同じ構造をしているので文体的にやや不自然。同じ内容を伝えるとき He was in his second year at high school. のタイプは多い。こちらの方が英語としてより自然な文体であると感じられるのであろう。

Bibliography

- Bennett, David. C. 1975. *Spatial and Temporal Uses of English Prepositions: an essay in stratificational semantics*. Longman.
- Biber, D. et al. 1999. *Longman Grammar of Spoken and Written English*. Longman.
- Hill, L. A. 1968. *Prepositions and Adverbial Particles*. Oxford University Press.
- 小西友七. 1974. 『英語前置詞活用辞典』大修館.
- . 1976. 『英語の前置詞』大修館.
- . (編). 2000. 『ジーニアス英和辞典』改訂版 7 版. 大修館.
- Quirk, Q. et al. 1972. *A Grammar of Contemporary English*. Longman.
- . 1985. *A Comprehensive Grammar of the English Language*. (CGEL) Longman.
- Schibsbye, Knud. 1970. *A Modern English Grammar, 2nd Edition*. Oxford University Press.
- Sinclair, John. ed. 1995. *Collins Cobuild English Language Dictionary on CD-Rom*. Harper Collins.
- Summers, Della, et al. ed. 1987. *Longman Dictionary of Contemporary English, 2nd ed.* Longman.
- Thomson, R.D. & A.V. Martinet. 1986. *A Practical English Grammar for Foreign Students. 4th Edition*. Oxford University Press.
- Wood, Frederick T. 1967. *English Prepositional Idioms*. MacMillan & Co.
- 渡辺登士(他). 1976. 『続・英語語法大事典』大修館.
- . 1981. 『英語語法大事典・第 3 集』大修館.
- . 1995. 『英語語法大事典・第 4 集』大修館.